原稿種別（事務局記入）

原稿タイトル（18Pゴシック）

著者性　名a，共著者性　名ｂ（１２P明朝）

a著者所属（部署と機関，１２P明朝）

ｂ共著者所属

（受取日：0000年00月00日，受理日：0000年00月00日）

**Title of Paper(14P Times New Roman, Bold)**

First name Family namea, Name of authorb(12P Times New Roman)

a Affiliation of Author a(12P Times New Roman)

b Affiliation of Author b

(Received \*\*\*. \*\*, 201\*; Accepted \*\*\*. \*\*, 201\*)

Abstract(<200 words for normal length paper, <100 words for short note, 9P times new roman)

Keywords: aaaa, bbbbb.(less than 6 of key words, 9P times new roman

**1. はじめに**

共著者ｂ

Author b

E-mail:

Photo

Photo

著者名ａ

Author a

E-mail:

**(見出し：通し番号を付け，和文10Pゴシック，英文10P Arial，**

**ボールド，センタリング)**

(１行開き)

＜テンプレートの使い方＞

赤字および見本の仮入力文字と説明文を削除してご記入下さい。

①本文は２段組，句読点は（，）と（。）を使用。（和文：9P明朝，英数：9P times new roman）

②文献番号は関連語句の後，または文節末の句読点（，。）の後に上付で１），２－６）等と記載。

③図はFig.1，Figs.2-4と引用。図は本文中に挿入（折り返しは四角，行間または上下）。大きな図は段組を一時解除して挿入。容量の大きな図は解像度を下げる（圧縮する）か別ファイルで送る。

④表はTable 1，Tables 2-4と引用。表は図と同様本文中に挿入，大きな表は段組を一時解除して挿入。

⑤図の下部と表の上部には英文説明文を記入する。

⑤図表およびその説明文と本文の間は１行開ける。

⑥数式，化学式は下記のように左詰め，式番号は括弧付きとして右詰め。

　　　　　　　　　　　　　　(1)

⑦物理量はイタリック，記号と単位は原則SI単位とする。

ヘッダとフッダは先頭ページ，奇数ページ，偶数ページが異なります。（編集段階で記入します）

* 原稿は熱測定編集委員会（下記メールアドレス）へ添付ファイルとして送付して下さい。合計容量の大きなファイルは分けて送付下さい。

送付先：　edit@netsu.org

文頭は１字下げ（以下，本文を記入）

**2. 見出し２（以下，見出し自由）**

（見出しの上下１行開き）

（図をjpegまたはtiff形式として貼り付ける。）

Fig. 1 Type figure caption in text box. (9P Times new roman) 図の説明文はテキストボックスに記入し，図とグループ化して下さい。

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| Table 1 Sample of Table. | | | |
| *T* /K | *x* | *H*mE /kJmol-1 | *V*mE /cm3mol-1 |
| 198.15 | 0.5000 | 273.5 | 1.23 |
| 303.15 | 0.4000 | 125.2 | 0.75 |

**謝　　辞**

　謝辞がある場合記載

**文　　献**

(1行開き)

文献は論文の場合は著者，雑誌名（イタリック），巻（号）（ボールド），始頁-終頁 (発行年)の順に記載

本の場合は著者，書名，（訳者）出版社名（出版年）を記載

例）

1) G. R.ストローブル, *「高分子の物理」*（６章），深尾，他 訳，シュプリンガージャパン

16) Y. Saruyama, *Thermochim. Acta*, **330**, 101-107 (1999)